

営農支援課、春日部地区担当TACの中込です。

今回は春日部地区にて取組んでいる、鉄コーティング種子を用いた水稻直播栽培について報告します。鉄コーティング水稻直播とは、水稻種子を鉄粉と焼石膏でコーティングし、代かきした水田に直接播種する技術です。

なぜ鉄コーティングをするかという、直接水稻の種もみを水田に播種すると、浮き苗が発生したり、鳥に食べられたり、安定した栽培ができません。鉄でコーティングすることで、「おもり」をつける意味や、表面が固いことで鳥害にも強くなります。

湛水直播栽培の特徴としましては、資材－鉄粉、種子保存－数か月以上、育苗－不要、耕起・代かき－必要、播種－表面播種、播種機－選択肢多数となり直播は、育苗を少なくしたい方や春作業の分散が必要な方が導入した場合に特長が発揮されます。

現在、春日部では播種方法を3つのやり方で実施しております。散播：①背負式動力散布機を用いる方法では、通常肥料農薬の散布時に使用するものを用いて鉄コーティング種子の散播を行います。いびつな圃場等でも実施でき、初期投資も少なくてすみます。②産業用無人ヘリを用いた方法では、播種時間の大幅な削減が可能になり一筆が大きな圃場や、播種する圃場をまとめることで大きな効果が期待できます。点播：③専用播種機を用いる方法では、1か所あたり数粒を落とすやり方で播種を行い、播種と同時に除草剤の散布等ができます。鉄コーティング水稻直播は、近年急速に普及しており、平成27年度は、全国合計で15,000haを超えたと推定されております。今後とも直播栽培の普及定着を検討するため中間検討会等も実施してまいります。品種は耐倒伏性の高い、彩のかがやきで取り組んでおります。



背負式動力散布機



産業用無人ヘリ



専用播種機